慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	坂本達哉教授略歴・主要業績
Sub Title	Biographical sketch and selected scholarly achievements of professor Tatsuya Sakamoto
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2019
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.111, No.4 (2019. 1) ,p.559(187)- 565(193)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20190101-0187

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

坂本 達哉 教授　略歴・主要業績

＊ 2019年 3 月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を選択定年退職するのにともない,
本学会を退会する会員の略歴・主要業績を
次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

坂本 達哉 教授　略歴・主要業績

〈略　歴〉

研究分野

社会思想史（とくにD. ヒューム，A. スミスをはじめとするイギリス社会思想史）

学　歴

1979年　慶應義塾大学経済学部卒業

1981年　慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了

1984年　同博士課程単位取得退学

1996年　博士（経済学）

職　歴

1982–89年　慶應義塾大学経済学部助手

1984–86年　日本学術振興会海外特別研究員（グラスゴウ大学）

1989–96年　慶應義塾大学経済学部助教授

1996–2019年　慶應義塾大学経済学部教授

塾内役職

1991–93年　大学経済学部学習指導副主任

1993–95年　大学通信教育部学習指導副主任

1995–97年　大学通信教育部学習指導主任

1995–97年　大学経済学部運営委員

1995–97年　大学経済学部学習指導主任

1999–2001年　大学院経済学研究科学習指導

2001–03年　大学国際センター副所長

2003–05年　大学国際センター所長および大学日本語・日本文化教育センター所長

2005–09年　常任理事（国際連携担当）

塾外役職

2004–11 年　日本私立大学連盟 国際交流委員会

2004–10 年　独立行政法人日本学生支援機構

2009–12 年　文部科学省中央教育審議会専門委員

2009–11 年　The World Economic Forum's Global Agenda Council on Diversity & Talent

2012–現在　学校法人常磐大学評議員会

2014–16 年　日本イギリス哲学会会長

2015–17 年　大学評価・学位授与機構国立大学評価委員会

2016–19 年　社会思想史学会代表幹事

受賞歴

1996 年　義塾賞（『ヒュームの文明社会——勤労・知識・自由』）

1996 年　サントリー学芸賞（同上）

2001 年　日本学士院賞（同上）

〈主要研究業績〉

単　著

『社会思想の歴史——マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会，2014 年

『ヒューム 希望の懐疑主義——ある社会科学の誕生』慶應義塾大学出版会，2011 年

『経済学の源流——欧米諸都市が育んだ 100 の古典』慶應義塾図書館，2010 年

『ヒュームの文明社会——勤労・知識・自由』創文社，1995 年

編　著

『黎明期の経済学』日本経済評論社，2005 年

共編著

『徳・商業・文明社会』京都大学学術出版会，2015 年

The Rise of Political Economy in the Scottish Enlightenment, Routledge, 2003

共　著

The Diffusion of Western Economic Ideas in East Asia (Chap. 16 “Adam Smith’s Sympathy in Modern Japanese Perspectives”) Routledge, 2017

The Adam Smith Review, Volume 9 (pp. 127–144; “Smith’s Dialogue with Rousseau and Hume: Yoshihiko Uchida and the birth of The Wealth of Nations”) Routledge, 2016

The Oxford Handbook of David Hume (Chap. 28 “Hume’s Philosophical Economics”), Oxford University Press, 2016

『こころ動かす経済学』（「日本人は競争が嫌い？ 精神性の特徴」）日本経済新聞社，2015 年

The Mizuta Library of Rare Books in the History of European Social Thought: A Catalogue of the Collection Held at Nagoya University Library (Preface), Edition Synapse & Routledge, 2014

『古典から読み解く経済思想』（「「学問のすすめ」の社会・経済思想——スミス，ミル，福沢」）ミネルヴァ書房，2012 年

『回想 小林昇』（「小林昇における学史と思想史の「試行錯誤的往反」の可能性をめぐって」）日本経済評論社，2011 年

『啓蒙と社会——文明観の変容』（「いわゆる「初期覚え書き」とヒューム経済思想の形成」）京都大学学術出版会，2011 年

『高橋誠一郎 人と学問』（「社会思想史家としての高橋誠一郎」）慶應義塾大学出版会，2010 年

A Companion to Hume (Chap. 20, “Hume’s Economic Theory”) Blackwell Publishing, 2000

『共和主義ルネサンス——現代西欧思想の変貌』（「共和主義パラダイムにおける古代と近代——アリストテレスからヒュームまで」）NTT 出版，2007

Economic Development and Social Change: Historical Roots and Modern Perspectives (“*Genesis* of Hume’s political economy of “manners”) Routledge, 2006

『ヒューム読本』（「ヒュームにおける社会科学の生誕」）法政大学出版局，2005 年

『哲学・思想翻訳語事典』（項目「共感／同感」）論創社，2003 年

『自由と秩序の経済思想史』（「市民社会から文明社会へ——ロックとヒューム」），名古屋大学出版会，2002 年

『近代思想のアンビバレンス』（「一八世紀文明社会における中流身分のアンビバレンス」）御茶の水書房，1997 年

『経済思想史——社会認識の諸類型』（「デヴィッド・ヒューム—近代文明社会の哲学的・社会科学的基礎付け」）名古屋大学出版会，1995 年

『アダム・スミスを語る』ミネルヴァ書房，1993 年

『市場と貨幣の経済思想』（「ヒュームにおける勤労・貨幣・文明社会」）昭和堂，1989 年

『古典派経済学研究（I)』（「D. ヒュームの人間労働概念とインダストリー論」）雄松堂出版，1984 年

主要論文

「アダム・スミスと福沢諭吉——〈共感〉と〈独立自尊〉のあいだ」『福澤諭吉年鑑』第 44 号，pp. 115–132, 2017 年

「会長講演——イギリス思想史におけるヒューム」『イギリス哲学研究』第 39 号，2016 年

「ヒューム社会科学における「懐疑」と「自然」」『思想』1052 号，pp. 46–61，2011 年

“Hume’s Early Memoranda and the Making of His Political Economy”, *Hume Studies*, 37: 2, pp. 131–164, 2011

「日本におけるイギリス思想史研究の一特質——いわゆる「市民社会」論の伝統をめぐって」『政治思想研究』6 号，pp. 34–60，2006 年

「スコットランド啓蒙における学問の国と社交の国」『一橋大学社会科学古典資料センター年報』22 号, pp. 8–14, 2002 年

「戦後『市民社会』思想の再検討に向けて」『神奈川大学評論』26 号，pp. 63–75，1997 年

「ヒューム社会科学の歴史像」『経済学史学会年報』32 号，pp. 99–105，1994 年

“Anonymous Writings of David Hume” (with David Raphael), *Journal of the History of Philosophy*, 28: 2, pp. 271–282, 1990

「名誉革命体制評価をめぐるヒュームとウォーレス (I)–(IV)」『三田学会雑誌』81 巻 1 号, pp. 105–130, 1988 年 4 月；81 巻 2 号，pp. 60–83，1988 年 7 月；82 巻 3 号，pp. 118–143，1989 年 10 月；83 巻 1 号，pp. 88–120，1990 年 4 月

「ヒューム正義論の特質と意義——所有権論と経済論」『三田学会雑誌』75 巻 1 号，pp. 92–111，1982 年

学会発表（招待講演）

「内田義彦『経済学の生誕』の生誕——市民社会の「正義」をもとめて」経済学史学会第 82 回全国大会，2018 年 6 月

「私のヒューム研究と日本の社会思想史研究」第 8 回名古屋大学高等研究院レクチャー「近代を問う東アジア」2013 年 1 月

“What Was Important About Adam Smith?: The Case of Yoshihiko Uchida’s The Birth of Economic Science”, Adam Smith in International Contexts: An Adam Smith Workshop, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, Dec. 2012.

「いまなぜヒュームか——イギリス哲学における利己心と利他心」日本イギリス哲学会第 35 回研究大会，2011

年3月

「私悪は公益？——日本におけるイギリス思想史研究の一特質」2005年度政治思想学会研究会，2005年5月

“Hume as a Social Scientist”, The 30th Hume Society Conference, July 2003.

“Hume’s Early Memoranda and the Shaping of His Political Economy”, The Conference on David Hume’s Political Economy, Columbia University, May 2003.

“Genesis of David Hume’s Political Economy as a System of Manners”, The 6th Conference of the European Society for the History of Economic Thought, March 2002.

「ヒュームにおける文明社会と政治」日本政治学会99年度研究会，1999年10月

“Radicalism and Moderation in Francis Hutcheson’s Social Theory”, The Tenth International Congress on the Enlightenment, July 1999.

「ヒュームにおける文明社会の危機と名誉革命体制の危機」経済学史学会第59回大会，1995年10月

「一八世紀における所有と自由」日本イギリス哲学会第15回研究大会，1991年3月

「名誉革命体制をめぐるヒュームとウォーレス」社会思想史学会第12回大会，1987年10月